

事項	もも補助品種「川中島白桃」の特性		
ねらい	近年、ももは9月の需要が増えつつあるが、本県には9月に収穫できる晩生種の優良品種がなかった。本品種は食味・果実品質ともに優れた晩生種であることが明らかになったので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 来歴</p> <p>昭和38年ころ長野市川中島町の池田正元氏が、自園のももの偶発実生の中から発見し、昭和52年命名した。</p> <p>2 果実特性</p> <p>(1) 収穫期：「あかつき」より2～3週間遅く、9月上旬～中旬</p> <p>(2) 着色：赤色、「あかつき」よりやや劣る。</p> <p>(3) 1果重：280g程度のやや大玉</p> <p>(4) 果形：扁円形</p> <p>(5) 玉揃い：良好</p> <p>(6) 肉質：ち密</p> <p>(7) 果汁：多汁</p> <p>(8) 糖度：12.3%程度</p> <p>(9) 酸度：0.28g/100ml程度</p> <p>(10) 食味：甘味がやや強く良好</p> <p>(11) 日持ち性：室温で7日程度</p> <p>(12) 生理的落果：少ない</p> <p>3 その他の特性</p> <p>(1) 樹勢：やや強い</p> <p>(2) 樹姿：開張性</p> <p>(2) 開花期：「あかつき」とほぼ同時期の4月下旬～5月上旬</p> <p>4 栽培上の留意点</p> <p>(1) 花粉がない品種なので、花粉の多い「あかつき」や「大久保」などの授粉樹が必要である。</p> <p>(2) 無袋栽培で裂果が発生する場合がある。</p> <p>(3) 風当たりの強いところでは、せん孔細菌病にかかりやすく防除が難しいので栽培を避ける。</p>		
期待される効果	晩生種の作付けにより品種構成の多様化が図られ、また、ももの出荷期間が後期に延長できる。		
利用上の注意事項			
担当	青森県農林総合研究センターりんご試験場 県南果樹研究センター	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成13～14年度 青森県りんご試験場県南果樹研究センター試験研究成績概要集</p> <p>平成15年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場県南果樹研究センター試験研究成績概要集</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 開花期 (平成13～15年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

年次	川中島白桃			あかつき (参考)		
	開花日	満開日	落花日	開花日	満開日	落花日
平成13年	—	—	—	4/29	5/6	5/16
平成14年	4/22	—	—	4/21	4/23	4/29
平成15年	5/1	5/3	5/9	4/30	5/2	5/8
平均	4/27	5/3	5/9	4/27	5/1	5/7

(注) — は欠測

表2 果実品質及び収穫日 (平成13～15年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

年次	川中島白桃				あかつき (参考)			
	果重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	収穫日 (月/日)	果重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	収穫日 (月/日)
平成13年	277	12.3	0.21	9/14	243	13.0	0.18	8/24
平成14年	277	13.4	0.38	9/5	258	11.4	0.25	8/23
平成15年	285	11.3	0.25	9/9	215	10.7	0.26	8/20
平均	280	12.3	0.28	9/9	239	11.7	0.23	8/22

(注) 糖度は屈折計示度、酸度はリンゴ酸換算

表3 主要形質の特性 (平成13～15年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

品種名	収穫期	樹性		健全花粉の有無	果実形質						
		樹姿	樹勢		果重 (g)	果形	着色	果汁	甘味	肉質	食味
川中島白桃	9月上中旬	開張	や強	無	280	扁円	中	多	や多	密	や良
倉方早生	8月上旬	や直	強	無	250	扁円	中	少	少	粗	不良
あかつき	8月下旬	や直	強	有	225	扁円	中	中	中	や粗	中
大久保	8月下旬	開張	中	有	300	円	や少	中	や少	や粗	や不